

いしおか 市議会だより



一般質問

17人が登壇

6~11 ページ

議案質疑

12~13 ページ

第2回臨時会

第3回定例会

第3回臨時会

各会計補正予算・
議員提案条例など
原案可決

2~5 ページ

請願・陳情の概要と結果

5 ページ

常任委員会の活動

14 ページ

第76号

ぎかい
広報紙

令和2年12月1日発行

第2回臨時会

新型コロナウイルス感染症
情報提供に関する意見書を可決
県知事に提出へ

8月4日に開催した令和2年第2回臨時会では、市長から新型コロナウイルス感染症対策に要する経費などを計上した令和2年度一般会計補正予算案が提出されました。また、議員提出により意見書案1件と決議案1件が提出されました。

●一般会計補正予算
コロナ対策経費を計上

議案第63号一般会計補正予算(第6号)は、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を基本的な考え方として、6億1811万3000円を追加し、歳入歳出の総額を431億6115万2000円とするものです。

歳出の主な内容として、民生費では、国の特別定額給付金の基準日より後に生まれた新生児一人当たり10万円を給付する、新生児特別定額給付金給付事業4549万円の増。

商工費では、公的融資を受けた中小企業者等に対し1事業者10万円の新型コロナウイルス関連融

資応援給付金を支給する経費等を計上する、商工振興事業1億4830万1000円の増。

教育費では、各小中学校の水栓のレバーハンドルの改修経費等を計上する、学習保障等支援事業3242万8000円の増などです。

●新型コロナウイルスの情報提供
に関する意見書

大和田寛樹議員ほか5名から、意見書案第2号「自治体への新型コロナウイルス感染症患者に係る情報提供に関する意見書」が提出されました。

この意見書案は、新型コロナウイルス感染症患者の情報提供に際し、迅速な提供に努めることや、報道機関への情報提供に先立って自治体へ通知し、自治体内の対応が支障なく行えるよう配慮

することなどを求める内容です。
質疑、討論の後、全会一致で可決しました。

●市長の危機管理意識に
関する問責決議を可決

市長提出議案・意見書案の審議終了後、「谷島洋司市長の危機管理意識に関する問責決議案」が、石橋保卓議員ほか9名の議員から提出されました。

この決議案は、市役所への爆破予告日当日に市長がとった行動などについて、危機管理意識の低さや責任感の欠如を指摘し、行動の責任を問うとともに、強く猛省を促すことを決議するものです。
質疑・討論ののち、賛成多数で可決しました。

今回市長から提出された議案第63号は、本会議で採決の結果、原案のとおり可決しました。

※採決の結果は下表参照

議案の審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第63号	令和2年度石岡市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
意見書案第2号	自治体への新型コロナウイルス感染症患者に係る情報提供に関する意見書	原案可決
決議案第3号	谷島洋司市長の危機管理意識に関する問責決議	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた議案です。《会議の欠席状況》欠席者なし

議員の賛否

議員名	鈴木 康仁	飯村 一夫	新田 茜	大和田寛樹	川井 幸一	櫻井 茂	石橋 保卓	岡野 孝雄	玉造 由美	勝村 孝行	谷田川 泰	小松 豊正	山本 進	村上 泰道	関口 忠男	櫻井 信幸	菱沼 和幸	岡野 孝男	徳増 千尋	高野 要	鈴木 行雄	結果
決議案第3号	○	×	×	×	○	×	○	○	—	○	×	×	○	—	×	×	—	○	○	○	○	原案可決

※「○」は賛成、「×」は反対、「—」は退席等 ※議長は、採決に加わりません。

意見書

意見書名	送付先
自治体への新型コロナウイルス感染症患者に係る情報提供に関する意見書	茨城県知事

第3回定例会

議員提出議案

法令遵守の推進に関する条例可決

9月1日から17日に開催した令和2年第3回定例会では、令和2年度石岡市一般会計補正予算や令和元年度各会計決算認定議案、新治地方広域事務組合の解散に係る議案など、市長から28議案が提出されました。最終日には、議員提出議案として法令遵守の推進に関する条例が提出されました。

●一般会計補正予算 総額438億に●

議案第64号一般会計補正予算（第7号）は、6億4822万9000円を追加し、歳入歳出の総額を438億938万1000円とするものです。

歳出の主な内容として、総務費では、借地である旭台会館の駐車場の返還に当たり敷地の原状を回復するための工事請負経費等を計上する、旭台会館管理経費654万7000円の増など。農林水産業費では、県が実施する畑の大区画化による高収益化を図る事業について市の負担金を計上する、高収益畑作モデル基盤整備事業400

万円の増など。

商工費では、ふれあいの森のリニューアル整備に伴い新たに実施する電気工事等の経費を増額する、ふれあいの森リニューアル整備事業6756万4000円の増など。

土木費では、石岡駅西口側の道路整備に伴う家屋補償の算定が完了したことから補償費を計上する、石岡駅周辺整備事業1468万7000円の増など。

教育費では、国のGIGAスクール構想に伴いICT環境整備に要する経費として、公立学校情報整備事業2367万6000円、小学校費のICT環境整備事業2億6037万7000円、中

学校費の1億2002万1000円の増などです。

新型コロナウイルス感染症対策関連 補正予算のうち主なもの

- ・ひとり親世帯臨時特別給付金 2,054万円
- ・子育て世代包括支援センター事業 86万1千円
(マスク・消毒用エタノール購入)
- ・小学校費・学校管理運営経費 151万1千円
- 中学校費・学校管理運営経費 54万1千円
(非接触型体温計購入)

●令和元年度決算●

令和元年度の各会計決算認定議案は、市長から「監査委員の審査をいただいたので、審査意見書を添えて議会の認定に付す」ことが説明されました。

各会計決算認定議案は、集中して審査を行うため、議員全員で構成する決算特別委員会を設置し、審査を行いました。10月2日から7日まで開催した決算特別委員会の審査結果は、次期定例会で報告し、議会が認定するかどうかを採決します。

●法令遵守の推進に関する 条例を可決●

最終日には、石橋保卓議員ほか4名から提出された議員提出議案第2号「石岡市法令遵守の推進に関する条例を制定することについて」を議題とし、審議しました。

この条例は、法令違反等の通報対象事実が生じた時などにその旨を通報した際の「公益通報者保護制度」や、議会の議員

などの公職者等から執行機関が要望等を受けた時の記録制度について定め、法令遵守を推進する体制を整備すること、職員等の公正な職務執行の確保を図るとともに行政運営における責任を明らかにし、市民から信頼される市政を確立することを目的として制定するものです。

条文では、市長や幹部職員等の責務を定めるとともに、公正職務審査会の設置や公益通報者保護制度に関する事項、要望等への対応の基本原則などを定めています。採決の結果、原案のとおり可決しました。

●百条委告発の結果 「不起訴」と報告●

平成30年12月に、当時設置されていた不適切文書作成に関する調査特別委員会（百条委員会）の報告に基づいて当市議会が水戸地方検察庁に行った告発が、このたび同検察庁から「不起訴処分」となったとの通知がありました。

これを受け、議長は定

例会初日に議会へ報告し、「当時、議員間の意志の疎通を欠いた中で、特定の議員に対し、結果として『不起訴』となる事案を議会として告発したものであり、当市議会議長として、その結果を真摯に受け止めるとともに、高野要議員並びに係各位にご迷惑をおかけしたことについて大変申し訳なく思う」と述べる

今回市長から提出された議案は、各委員会に付託して審査を行いました。本会議で採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

※採決の結果は次ページ

議案の審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第64号	令和2年度石岡市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第65号	令和2年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第66号	令和2年度石岡市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第67号	令和2年度石岡市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第68号	令和2年度石岡市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第69号	令和2年度石岡市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第70号	令和元年度石岡市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第71号	令和元年度石岡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第72号	令和元年度石岡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第73号	令和元年度石岡市駐車場特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第74号	令和元年度石岡市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第75号	令和元年度石岡市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第76号	令和元年度石岡市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第77号	令和元年度石岡市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第78号	令和元年度石岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
議案第79号	令和元年度石岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算認定について	継続審査
議案第80号	石岡市民会館条例を廃止する条例を制定することについて	原案可決
議案第81号	石岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第82号	石岡市学童保育事業条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第83号	石岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第84号	石岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第85号	石岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第86号	石岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第87号	備品購入契約の締結について(令和2年度 消防団消防ポンプ自動車購入(第13分団・第22分団更新))	原案可決
議案第88号	損害賠償額の決定及び損害賠償請求に関する和解について	原案可決
議案第89号	霞台厚生施設組合規約の変更について	原案可決
議案第90号	新治地方広域事務組合の解散について	原案可決
議案第91号	新治地方広域事務組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
議員提出議案第2号	石岡市法令遵守の推進に関する条例を制定することについて	原案可決
意見書案第3号	「刑事訴訟法の再審規定」(再審法)の改正を求める意見書	原案可決
意見書案第4号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
意見書案第5号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	原案可決

※賛否が分かれた議案はありません。

議員の賛否

議員名	鈴木 康仁	飯村 一夫	新田 茜	大和田寛樹	川井 幸一	櫻井 茂	石橋 保卓	岡野 孝雄	玉造 由美	勝村 孝行	谷田川 泰	小松 豊正	山本 進	村上 泰道	関口 忠男	櫻井 信幸	菱沼 和幸	岡野 孝男	徳増 千尋	高野 要	鈴木 行雄	結果
陳情第7	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	不採択

※「○」は賛成、「×」は反対、「―」は退席等 ※議長は、採決に加わりません。
《会議の欠席状況》 9/9 本会議 徳増千尋

意見書

意見書名	送付先
「刑事訴訟法の再審規定」(再審法)の改正を求める意見書	内閣総理大臣、法務大臣
教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、衆議院議長、参議院議長

請願&陳情

請 願 の 内 容	付託委員会	審議結果
請願第3 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願 紹介議員：岡野孝男 【請願の要旨】学校現場では、新学習指導要領への対応だけでなく、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数改善が不可欠である。また、国の施策として定数改善にむけた財源を保障し、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠であることから、2021年度政府予算編成で本請願事項が実現されるように関係機関への意見書の提出をしていただきたい。 【委員長報告の要旨】委員から、「毎年、同趣旨同内容で採択されており、今回も願意妥当という判断に至ると思う」との意見があり、採決の結果、採択すべきものと決しました。 【委員会での審査結果】採択とすべきもの	教育福祉環境委員会	採 択
陳 情 の 内 容	付託委員会	審議結果
陳情第5 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の採択、提出を求める陳情 【陳情の要旨】無辜の者を誤った裁判から迅速に救済するため、①再審における検察所持証拠の全面開示②再審開始決定に対する検察の不服申し立ての禁止を内容とする「刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書」を国へ提出していただきたい。 【委員長報告の要旨】委員から、「えん罪防止の観点から賛成」との意見や、「有識者や専門家でも意見が分かれるところだ」というので、地方議会が意見書を提出すべき性質の問題なのか」などの意見があり、採決の結果、採択とすべきものと決しました。 【委員会での審査結果】採択とすべきもの	総務委員会	採 択
陳情第7 東田中香取神社周辺の防犯に関する陳情 【陳情の要旨】近年、東田中香取神社付近で不法投棄、不審者の出没と建物内への不法侵入などが相次いで確認され、地区役員による点検や警察によるパトロールを強化してもらっても収まる気配は見られない。このような事象、軽犯罪を見逃すことは、将来、より重大な犯罪発生要因となることも考えられることから、犯罪の抑止を目的に防犯カメラの設置をしていただきたい。 【委員長報告の要旨】現況を確認するため現地調査を実施し、その後の審査では、「コミュニティ活動補助金を積極的に活用し設置してもらうのがよいのではないか」との意見があり、採決の結果、不採択とすべきものと決しました。 【委員会での審査結果】不採択とすべきもの	教育福祉環境委員会	不 採 択

※審議結果の欄は、付託委員会での審査結果報告を受けて本会議で採決をし、議会としての意思決定をした結果です。

計上する小学校費の学校
ン発生装置の購入経費を
染症予防対策としてオゾ
育費では、教育バスの感
8万6000円の増。教
商工振興事業1億291
に給付金を支給する
を義務付けられた事業所
を「アマジエちゃん」の登録
条例に基づき「いばらき
の増。商工費では、県の
対する補助金500万円
クリングイベント開催に
配慮したオンラインサイ
て、総務費では、新型
コロナウィルス感染症に
す。

新型コロナウイルス感染症対策関連 補正予算のうち主なもの	
・保育支援関係経費……………	1,698万2千円 (保育事業従事者慰労給付金)
・予防接種事業……………	150万6千円 (妊婦インフルエンザ予防接種助成金)
・商工振興事業……………	1億2,918万6千円
・放課後児童健全育成事業……………	607万3千円 (学童保育事業従事者慰労給付金)

議案の審議結果		
議案番号	議案名	結 果
議案第92号	令和2年度石岡市一般会計補正予算 (第8号)	原案可決

※賛否の分かれた議案はありません。
《会議の欠席状況》 10/20 本会議 岡野孝男

第3回臨時会

新型コロナウイルス感染症対策

一般会計補正予算を可決

10月20日に開催した令和2年第3回臨時会では、市長から新型コロナウイルス感染症対策に係る経費を計上した令和2年度一般会計補正予算案が提出されました。

●一般会計補正予算
1億6千万円を追加●

議案第92号一般会計補正予算(第8号)は、1億6342万3000円を追加し、歳入歳出の総額を439億7280万4000円とするもので

●一般会計補正予算
1億6千万円を追加●

管理運営経費89万7000円、中学校費の119万6000円の増などです。

今回市長から提出された議案は、本会議で採決の結果、原案のとおり可決しました。

石岡市の新型コロナウイルスに対する支援策

市独自の認証制度を設ける考えは



かわ い こう いち
川 井 幸 一

さらに、担当部署を新たに設置して対策に当たる考えはあるか伺います。



動画

問 新型コロナウイルスの影響により多くの方が自粛を余儀なくされる中、だれもが安心して利用でき、経営する側も安心して営業することができ、実効性の高い認証制度を設けることはできないかと考えます。

例えば千代田区では、予防対策を講じ認証された店舗にステッカーを交付、対策度の高さに応じランク分けを行っています。これに加え、点数等を表示することで利用者の参考となり、市民、店舗双方にとって有効な対策となると思います。このような市独自の認証制度を設けることについて考えを伺います。

答 認証制度については、県が推奨する「いばらきアマビエちゃん」の普及啓発を行い、市民の方々が安心して利用していただけるよう、関係機関と連携し取り組んでいきたいと考えます。

ご提案の認証制度についても、経営者の感染拡大防止策、市民の安全確保に有効な方法の一つと考えますので、先進事例を参考に調査研究していきます。

担当部署の設置については、様々な事態を想定しながら感染症対策を最大限に講じた上で、市民の生命を守ることができるよう、他市の事例にとらわれることなく検討を行いたいと思います。

ユニバーサルデザインでバリアフリーのまちづくり

——共生社会に向けた基本構想の見直しを



動画



たま づくり よし み
玉 造 由 美

問 全ての人が安心して生活できる、移動できるまちづくり、共生社会に向けて重要なことは、バリアフリー基本構想を新しく策定することだと考えます。年齢、障がいの有無、体格、性別、国籍等にかかわらず、多くの人々が普遍的に使用できるユニバーサルデザインを取り入れた

普遍的なバリアフリー基本構想の策定をする時期に来ていると考えますが、見解を伺います。

答 通称「バリアフリー新法」への法改正により、ハード面とソフト面の両方において対象範囲等が拡大され、現在の本市の交通バリアフリー基本構想では、対応できていない部分があります。共生社会を目指し、誰もが利用しやすい公共施設のバリアフリー化に向けて、今後、基本構想の見直しを行いたいと考えています。

心のバリアフリーについては、障がい者スポーツ大会、障がい者の方の美術作品展示、手話奉仕員養成講座の開設等の事業を行っており、これらを通じて一般市民の皆様の理解を深めていくとともに、学校教育活動全体を通じて道徳教育、総合的な学習の時間等を中心とした福祉教育、特別支援学校等との連携等、心のバリアフリーの教育の推進に努めます。

● 防災・減災 その他の質問事項

地域医療計画に対する市長の認識

公立病院はできるのか



たか の けん じ
高 野 健 二

を造ることは、今回市長の使命ではないですか。公立病院はできるのか、伺います。



動画

問 市長は、選挙戦において120床のベッドを減らすことを断固阻止すると訴え公立病院ありきの姿勢を打ち出し、多くの市民の賛同を得て当選されました。しかし、いつの間にか公立化は選択肢の一つに後退しています。この方針転換の理由について伺います。

私は公立病院に反対ですが、市長においては市民との約束であり、市民も市長に託したわけです。相手方に合わせた方向転換では、病院を待っている方々がかわいそうではないですか。市長は公立病院を造れなければ、石岡の医療制度が崩壊すると演説していました。公立病院

答 地域医療対策事業において、公立化による再編統合は有力な選択肢の一つですが、事業の進め方については、民間活用も含めて改めて協議をして、しっかりとしたものをつくっていきたく考えています。

● 市長の危機管理意識 その他の質問事項

新型コロナウイルス感染症 対策

PCR検査の拡充と給付金の周知



こまつとよまさ
小松豊正

問 新型コロナウイルス感染症の感染が確認された人の約4割が、無症状者からの感染と言われています。大規模な検査体制を作り、他の方々への感染を広げない対策が必要です。そこで、市として石岡市医師会にPCR検査の実施を要請すべしと思いますが、考えを伺います。

次に、いろいろ市独自の給付金事業が行われていると思いますが、それぞれの交付決定件数を伺います。また、その件数に対するの評価について伺います。

答 土浦市PCR検査場の開設に伴い、市内における検査体制について石



動画

岡市医師会と協議を行っています。今後インフルエンザと新型コロナウイルスの同時検査が可能なキットが開発される可能性もあり、石岡市医師会も市内のPCR検査実施方法を検討したいとの意見をいただいています。

給付金の交付決定件数は、8月31日現在で、石岡市中小企業等事業継続給付金18件、石岡市中小企業緊急支援事業補助金35件、石岡市中小企業等緊急家賃支援給付金1件、石岡市新型コロナウイルス関連融資応援給付金84件です。件数が少ないと考えていますので、引き続き周知活動を徹底していきます。

その他の質問事項

●地域医療対策 ●子ども
の森整備推進事業の見直し

石岡駅周辺のまちづくり

駅西口・東口の整備の進捗状況は



動画

問 石岡駅周辺整備事業は、市の将来を左右する大きな事業ですが、一向に進捗が見えてこないのが現状です。

そこで伺いますが、西口には交流の場を設け、イベントを定期的に開催し活性化を図っていくために、バスターミナルを東口のBRT側に集約するということが、いつ完了するのか。

また、鹿島
鉄道跡地につ
いては、立地
条件を生かし
P F I 方式に
よる文化施設
等の複合施設
の建設・運営
維持・管理等
を、民間資金
等を活用し
実現に向けた
検討をすると



谷田川 泰

していますが、検討状況について伺います。

答 バスターミナルの集約については、現在、石岡駅空港バス発着広場改修実施設計業務を発注し、待合所やシエルトの協議を進めています。スケジュールについては、全体計画を鑑み策定していく考えです。

また、閉館した市民会館に代わる文化施設の検討の中で施設機能の複合化を検討しており、現時点では複合施設の機能や候補地、建設時期は未定ですが、石岡駅周辺を候補地の一つとして検討しています。文化施設整備事業基礎調査の中で、従来の公設公営の手法やPFI法に基づく方法などの比較検討を進め、令和7年度の供用開始を目的としています。

その他の質問事項

●中心市街地の活性化

無電柱化推進計画

安全安心のために計画策定を



やまもと すすむ
山本 進

問 無電柱化については、

景観の向上はもとより、何よりも快適な通行空間の確保と市民の安全安心な生活に大きく寄与するもので、大規模災害時の緊急輸送路や避難路の確保のためにも、ぜひ進めていただきたい事業です。現在の整備計画策定の取組の内容と、その進捗状況について伺います。

膨大な費用がかかることを前提に実施できないと事業とせずに、優先エリアや優先路線を選定し、国が提案している低コスト工法を採用した場合の試算を行うこと、また、補助金の活用など柔軟な対応が必要であると考えます。が、見解を伺います。

答 今年度策定予定である石岡市国土強靱化計画の中で、災害等に備えるための無電柱化の整備等が計画に位置づけられるよう取り組んでいきたいと考えています。

無電柱化が必要と思われる優先路線等の選定については、緊急輸送道路や避難所を想定しており、地中化のほかにも、軒下等、低コストの工事の方法を地域の住民の方々と協議をしながら進めていきたいと思っております。また、国庫補助については、国土強靱化計画に載った場合、防災・安全交付金が活用できる見込みですので、しっかりと計画に位置づけ、無電柱化の推進に努めていきます。



動 画

その他の質問事項

●旧城南中学校舎の有効活用

恋瀬出張所

廃止に当たり十分な対策を



お 夫 一 村 飯

問 恋瀬出張所は、八郷総合支所から地理的に遠方となる恋瀬地区の行政サービス提供の一端を担ってきました。今年度末での廃止が決定したということですが、その決定に至った経緯について伺います。

廃止となれば、当然これまで利用してきた市民にとつてはサービスの低下となることは否めません。市街地へのアクセスについては、公共交通や乗り合いタクシーなどの活用と併せて、宇治会・村子地区のS字道路の整備など、利便性の向上についても対策が必要と考ええます。サービスの利便性の維持向上について、対策を伺います。



動画

答 出張所運営に係る経費と出張所の窓口取扱件数から1件当たりのコストを算出し、費用対効果が低いと判断できる出張所について廃止する方向で考え方をまとめ、総合的な判断の上、恋瀬出張所の廃止を決定しました。

廃止に伴うサービス低下を防ぐ有効な手段として、市の窓口業務の一部を郵便局で行える行政窓口事務の包括委託事業を実施予定で、瓦会郵便局を選定し準備を進めています。今後も人口減少や高齢化等、市を取り巻く環境の変化に合わせ、地域間の格差を生まない様々な施策の活用、さらに市独自の方策を模索しながら市政運営に努めます。

その他の質問事項

●茅葺建造物の保存

市内の遊具施設の整備

—— 八郷地区に大型遊具の設置を



動画



お 忠 男

問 以前と比べて、子どもたちが安全にかつ安心して遊べる場所が少なくなってきたという声を聞きます。子どもの遊び場マップには、市内に30か所の公園や砂場、遊び場が掲載されていますが、常陸風土記の丘や柏原池公園のような大きな遊具施設は何か所あるのか。

また、今後新規設置する予定はあるのか伺います。八郷地区には大きな遊具施設がなく、八郷地区の保護者は常陸風土記の丘まで行っているとの話を聞きました。そこで私は、大変広い面積がある八郷総合運

動公園や八郷総合支所駐車場の未舗装地などに、大型遊具施設を設置してはどうかと考えますが、見解を伺います。

答 大型遊具、いわゆる複合遊具は石岡地区に6か所あり、八郷地区にはない状況です。現在、既存の公園や遊び場への新規設置の予定はなく、公園施設長寿命化計画に基づいて、公園利用者が安全安心に利用するための維持管理を行っています。今後は、施設の利用状況などを勘案し、新規公園の整備も進めたいと考えているところです。

八郷総合運動公園は、借地が多いことや施設の配置状況等から設置が難しい状況ですので、八郷総合支所内などで、子どもが安心して遊べる場所の確保に向けて検討していきたいと思います。

その他の質問事項

●農産物の6次産業化・ブランド化
●教育バス・通学バス

企業誘致

企業が石岡に振り向く支援策を



お 康 仁

問 企業誘致は、石岡が抱える財政問題、人口減少、住民サービスの継続などを考えても、非常に大切です。コロナ禍の中、首都機能の分散、企業の地方分散、サテライトオフィスの増加、そのような動きになっていると思います。

石岡は都心から近く、高速道路があり、飛行場も近く、常磐線特急も止まる。このような立地は本当にありません。企業が少しでも石岡に振り向くような支援策を検討したいと思っています。企業誘致に向けて、石岡市が行っている具体的な支援策と、今年度の企業誘致の目標数を伺います。



動画

答 具体的な支援策としては、事業所を新設または増設し、市内在住の従業員を一定数増加させた企業に対する固定資産税及び都市計画税の免除や、新規雇用者1名につき年間12万円の補助、さらに、年間上下水道使用量が5000立方メートル以上の製造業の企業に、1立方メートル当たり10円で最大200万円の補助を行っています。また、本年度の誘致目標は2件としています。

誘致活動については、サテライトオフィスの誘致や施設の統廃合により空いた公共施設の活用、市内の空き店舗への効果的な助成など、今後積極的に企業誘致を図っていきたいと考えます。

その他の質問事項

●中心市街地活性化
●市における競争入札

アフターコロナを見据えた 移住定住促進の取組

コロナ禍を逆手にとった市独自策を――



あかね 茜
た田 新



動画

逆手にとった移住定住の
取組について、見解を伺
います。

問 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、デジタル化やテレワークでの勤務が普及し、地方移住への関心が高まっています。これをチャンスと捉え、市独自の強みのある取組をぜひ実施していただきたいと考えます。

例えば、地域おこし協力隊の制度を有効に活用できるようサポート体制を整えたり、就農を希望する移住者には、空き家を活用し、田畑と住まい、リフォームも含めて貸し出す支援があれば、非常に魅力的です。さらに、オフィスとしての空き家活用に改修補助を導入してはいかがでしょうか。

答 新型コロナウイルスは、まだまだ出口が見えず、影響はしばらく続いていると予想されます。移住を希望する方も、テレワークやオンラインを活用して生活拠点を地方に移す移住希望者が多くなるなど、移住の形も多様化しているのが現状です。

移住を検討する方は、コロナ禍を機に人生を改めて考えなおし、仕事や住まいについて様々に考えて選択すると思いますので、それをチャンスと捉え、ニーズをしっかりと調査し、都市圏に近いというメリットを生かしながら、議員の提案を前向きに今後の施策につなげていきたいと考えます。

石岡市の人口減少問題

――人口減少をチャンスと捉えては



動画



ひろ 尋
ち 千
ます 増
とく 徳

くりについて、市長の考えを伺います。

問 20世紀は物質に大変投資した時代であり、21世紀は人間に対して投資する時代だと思えますが、人口減少期の自治体経営をどのように進めるのか。

歴史的に重要な文化財を生かすなど、地域特性を生かした成熟型のまちづくりは、都会の人々の心を引きつけ、石岡市の価値を引き上げる切り札となるのではないか。この人口減を新しいチャンスと捉え、積極的に打って出ることができれば、これから長く続くであろう人口減少期を乗り切れるのではないかと思います。

答 人口減少と高齢化の進展、社会資本の老朽化が深刻さを増す時代となった現実を受け止め、選択と集中、人材への投資など、自治体経営を変えていく必要があります。

何が必要とされ優先順位が高いか、市民の声に真摯に耳を傾け、石岡市の強みを生かした持続可能な地域社会の構築を目指します。また、地域資源に改めて向き合い、適切に施策を進め、質を高め、石岡に暮らす全ての人が誰一人取り残されることがなく、共に生き、共に学び、育て合い、共に協力し合い、住み続けられるまちづくり、交流人口が増え、関係人口が増えるまちづくりのために真摯に取り組んでいきます。

その他の質問事項

●国指定史跡の保護保存と活用

新型コロナウイルス対策 市内の経済活動の下支えを――



たか 卓
やす 保
ばし 橋
いし 石



動画

問 市内で経済活動している事業者はたくさんあるかと思いますが、国の支援策を受けられない事業者も出てくると思います。制度から漏れてしまっている事業者へ、どのような対応を図っていくのか伺います。また、営農者への支援制度として実施している施策について伺います。

次に、台風などの災害発生時の状況によって、避難所での対応に戸惑う部分があるかと思えますが、新型コロナウイルス感染症が疑われる方が避難してきた場合も含めて、避難所における感染予防対策について伺います。

答 国の支援が受けられない事業者への石岡市中小企業等事業継続給付金のほか、市独自給付金として石岡市中小企業等緊急家賃支援給付金、石岡市新型コロナウイルス関連融資応援給付金を創設し支援しています。営農者への市独自事業としては、農業継続応援給付金、農業団体等経営継続補助金があります。引き続き、分かりやすい周知に努めていきます。

避難所での対策としては、三密を避けるための距離の確保や換気のほか、親戚や友人宅等への分散避難の検討をお願いしています。また、受付時に健康状況チェックリストを導入し、感染が疑われる方については保健所指定施設への移動などの対応を予定しています。

地域資源を活かした活性化 通年でにぎわう拠点の整備を



動画



ゆき たか むら 村 孝 勝

問 朝日トンネルを抜けてから広がる辻地区のイチゴ団地エリアは、イチゴ狩りの時期は多くの観光客でにぎわっていますが、それ以外の季節は非常に寂しい状況にあります。そこで、八郷地区で豊富に栽培されている果樹を集約し加工販売を行い、一年を通じてにぎわう観光の拠点を整備することが必要だと考えます。

来年にはフラワーパークがリニューアルを控え、周辺にはやさ温泉ゆりの郷や木内酒造によるウイスキー醸造所があり、さらに地域資源を生かした産業が新しく加われば、このエリアは素晴らしい観光拠点になると

考えますが、見解を伺います。

答 辻地区のイチゴ団地は、石岡市の玄関口のよう存在になっていきます。果樹の加工から販売までを一手でできるような拠点整備ができれば、石岡市のイメージアップや、雇用機会の創出など、地域活性化が図られると考えられます。

また、将来的には、果樹や観光のインフォメーション機能、農産物加工の拠点整備、加工品や石岡セレクト商品の販売を複合的に行っていくことが重要であると考えています。フルツライン沿線が通年で観光客でにぎわい、地域の活性化に寄与できるエリアとなるよう目指していきます。

新型コロナウイルス対策

—— 制度対象外の事業に市独自の支援を



動画



みち やま した 道 泰 上 村

問 新型コロナウイルス感染症と共存していかなければならない中で、行政として市民生活や経済活動の中で不便を感じる場所に光を当てていかなければならないと感じています。そこで、当市ではどのような独自の対策をとってきたか、今後の対策をどう展開していくか伺います。

答 国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業では、医療従事者や介護サービス事業所等に勤務する職員に対し慰労金を支給するとしていますが、一方で児童福祉に携わる方への慰労金は

現時点では抜け落ちていません。このような国の制度の不足する部分に、市独自の取組を発揮すべきと考えますが、見解を伺います。

答 当市では、これまでにマスク等の配布やひとり親家庭などへの臨時給付金の支給、プレミアム付商品券発行などに取り組んでいます。引き続き切れ目のない感染拡大防止対策を図っていきます。

医療機関や介護施設、児童福祉施設等に勤務する方たちについては、感染症の対応に大変ご苦労されていると認識しています。今後も様々な分野に影響が及ぶことが懸念されるため、市独自の事業については、議員ご指摘の保育士への慰労金の支給も含め、ニーズを調査研究し、感染拡大防止対策に取り組んでいきます。

その他の質問事項
●石岡市における公共交通のあり方

石岡保健センターの改築と移転

スピード感を持って移転・改築を



動画



たか お 野 孝 男

問 石岡保健センターは市民の健康増進の要であり、新型コロナウイルス感染症対策の中心的施設とも言える場所ですが、建築から40年が経過し、老朽化が進んでいます。施設の不具合状況について伺います。

また、同センターには母子保健事業や成人保健事業などを実施する際に、大勢の市民が訪れますが、駐車場のスペースが十分で、母子や身体の不自由な方が不便を感じています。同センターの重要性を考え、施設の移転・改築を進めるべきと考えますが、見解を伺います。

答 石岡保健センターの

主な不具合箇所としては、雨漏りにより大雨時、使用不可能となる部屋があることや、排水管の詰まりで使用を控えているトイレがあること、空調設備が故障し、冷房が入らない部屋があることなどが挙げられます。また、同センターの駐車可能台数は54台で、健診の際は最大200台近い駐車スペースが必要となり、隣接するスポーツ広場の駐車場を利用しての状況です。

今後の方向性については、これら施設の老朽化や不便さを踏まえ、施設の大規模改修と移転・複合化による建設とを比較・精査し、検討していきます。

その他の質問事項
●本市の教職員の働き方改革の取組状況●土砂等による土地の埋立て等

新型コロナウイルス感染症への対応

濃厚接触者の定義と対応は



さくら い じげる
櫻 井 茂

問 まず、濃厚接触者の定義と、PCR検査陰性となった濃厚接触者の行動規制について伺います。

答 次に、病状回復後の施設利用について伺います。濃厚接触者は行動規制終了時に医師の診断などを受けずに社会復帰することになり、施設管理側は、ほかの施設利用者からの問合せに対応できるのかという問題があります。差別や誹謗中傷を防ぐためにも、市としての対応を伺います。

答 濃厚接触者の定義は、患者の発症2日前から、同居または長時間接触した者、適切な防護なしに診察、看護、介護していた



動画

者、気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者、予防策なしに手で触れられる距離（1メートル目安）で15分以上接触した者で、接触最終日から14日間は無必要不急の外出を控えるなどし、症状が現れた時は保健所の指示を仰ぐこととなっています。保健所や県に確認したところ、受入れ側の不安に対する緩和措置等の具体的対応は示されていない状況です。市としても申入れや、指針を示すよう働きかけをしています。また、小中学校では、児童生徒に対する学級活動等を通じて偏見や差別の問題提起、保護者宛てメッセージの全家庭配布を行っています。

その他の質問事項

●施設整備における設計・施工

「エモ〜い」やさと!!地域資源を活かした活性化

地域資源を活かすための対応を



動画



おお わ だ ひろ き
大和田 寛 樹

問 八郷地区にはブドウや柿、イチゴなど観光果樹や、やさと温泉ゆりの郷といった多くの観光資源があります。先日ゆりの郷を利用した際、市外利用者とおぼしき女性が、満天の星空を見て「エモい」と言っているのを見かけました。エモいとはエモーショナルの略で、感情が動かされるといった意味だそうですね。すばらしいロケーションの同施設や観光果樹については、経営的課題もありますが、その対応について伺います。

また、八郷の魅力を再発見し盛り上げていくために

若手職員、女性を中心とした「エモ〜いやさとサイコー!!」プロジェクトを立ち上げてはと思いますが、見解を伺います。

答 八郷の観光果樹については、生産者の高齢化や後継者問題などの課題があり、高齢化対策はインターネットを通じ季節の果物を販売できるシステムの構築を進め、後継者対策では新規就農者研修制度で果樹施設園芸コースを新設しました。また、ゆりの郷はオープン以来20年が経過し、施設が老朽化していることから、速やかに中規模改修を行っていきます。

ご提案のプロジェクトについては、今後、観光資源を有効活用するための検討委員会を設置予定で、そこで女性や若い世代の意見を盛り込めるよう取り組んでいきます。

その他の質問事項

●市民への情報発信と今後の課題 ●石岡地域医療計画

令和2年

第4回石岡市議会定例会のお知らせ



第4回石岡市議会定例会は、この日程で開催する予定です。

なお、放映の欄に「有」と記載されている会議は、本庁舎1階ロビー、八郷総合支所1階ロビーで中継を行うとともに、インターネットによる映像配信を行っています。

※石岡市議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴にあたってマスクの着用及びアルコール消毒などをお願いしています。

月 日	曜	主 な 内 容	場 所	放映
11月30日	月	議案の提案理由説明など	本会議場	有
12月 7日	月	一般質問	//	//
8日	火	一般質問	//	//
9日	水	一般質問	//	//
10日	木	議案質疑	//	//
11日	金	教育福祉環境委員会	委員会室	無
14日	月	総務委員会	//	//
15日	火	経済建設消防委員会	//	//
16日	水	議会運営委員会	全員協議会室	//
17日	木	議案の採決など	本会議場	有

●議案第64号
令和2年度石岡市一般会計補正予算（第7号）
適正な工事の発注を



動画

岡野孝男

問 商工費のうち、観光施設費の補正1億2734万6000円について、その詳細な内容を伺います。同予算には、石岡市ふれあいの森リニール整備に係る経費が含まれていますが、この事業はもともと令和元年度に予算化し繰り越しており、再度繰り越すことはできません。そのため、仮に予算を議決した場合、繰り越した事業の工事と新規の工事とを併せて発注するのではなく、それぞれに分けて発注すべきと考えますが、見解を伺います。

答 事業内容は、茨城県フラワーパークのリニールに伴い増設する駐車場の借地料11万8000円、正面駐車場の再舗装や誘導サインの設置などの整備工事596

6万4000円、ふれあいの森リニール整備工事6756万4000円です。ふれあいの森リニール整備については、宿泊施設等の新設において、現地調査及び詳細設計の結果、想定以上の電気利用が見込まれるため、電気設備の工事を行うものと、一般利用者、宿泊施設利用者両方のトイレを確保する観点から、新たに浄化槽を設置するための工事費用となります。同施設は令和3年4月末にリニールオープンを予定しているため、補正予算の工事も含め、今年度中の完成を目指して事業を進めていきます。

きます。

その他の質問事項

●令和2年度石岡市介護保険特別会計補正予算（第1号）

●議案第64号
令和2年度石岡市一般会計補正予算（第7号）
不動産鑑定目的を示すべき



動画

高野 要

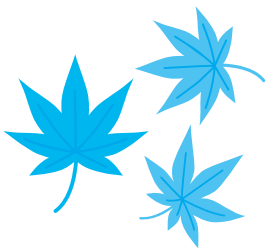
問 今回、補正予算の企画事務費に不動産鑑定委託料82万5000円が計上されています。半ノ木の法政グラウンドの鑑定を行うと聞いていますが、何を目的として不動産鑑定を行い、取得しようとするのか。

物を持てばランニングコストがかかります。市民に対してプラスにならない事業は、市民に迷惑になります。私が疑問を持ったのは、委員会や全員協議会で何の説明もないことです。目的がないものを予算計上するということとは言語道断です。できれば全員協議会でしっかりと目的を示すべきではないか。目的が示されれば、十分に考える余地はあると思います。

答 今回の補正予算は、法政大学側から市での取

得、活用についてお話をいただいたことを受け、その検討を進める中での判断材料の一つとして不動産鑑定を行うものであり、条件が整わなければ取得に至らない可能性はあります。

法政大学石岡総合体育施設は施設の規模が大きく、市の地域振興に大きな可能性を秘めている施設であると考えています。私としては、地域の活性化に資するよう、今の利用形態を引き継ぐ形の総合スポーツ施設を考えており、どのような具体的運営方法や在り方がよいのか、関係機関と情報共有して検討していきます。



●議案第91号
新治地方広域事務組合の解散に伴う財産処分
動産、現金の取扱いは



動画

櫻井 茂

問 新治地方広域事務組合の財産について、全てかすみがうら市に帰属させるとのことですが、これまでどのような協議をされたのか伺います。動産の中には、石岡市で譲り受けてもよいようなものもあるのではないかと思います。理屈上であれば負担金の割合であるとか、特段の事情があれば、こういう動産は石岡市、こういう動産はかすみがうら市というような協議がなされてもいいのではと思います。そういった協議はなされたのか伺います。

また、同じくかすみがうら市帰属となっている歳計現金の残高について、どのような清算行為を行うのか伺います。

答 平成30年度から令和元年度にかけて、新治地

方広域事務組合解散事務検討委員会で協議を行ってきました。令和元年12月27日にかすみがうら市、石岡市、土浦市の3市で締結した協定書において、かすみがうら市が財産を承継すること、売却可能なものは売却した上で当該施設の解体費用に充当し、売却困難なものについては3市で協議することとしています。動産については、関係市及び霞台厚生施設組合で担当者同士が有効活用の協議を進めています。

歳計現金の清算高については、一旦承継市であるかすみがうら市に収入した後、2市の負担割合に基づき、令和3年度にかすみがうら市から石岡市へ返還されることになっています。

その他の質問事項

●新治地方広域事務組合の解散

議案第64号
令和2年度石岡市一般会計補正予算(第7号)

ICT環境における支援



動画

小松 豊正

問 小学校費のICT環境整備事業2億6037万7000円、中学校費のICT環境整備事業1億2002万1000円の具体的な内容について説明を求めます。

昨今のコロナの感染状況から、教員と学校、子どもをオンラインで結ぶということも必要になってくると考えますが、実際に使った場合の公費負担の問題、ICT支援員の必要性、通常授業に使う場合に教員に強制しないことなどの配慮が必要だと思えます。ICTについての教育長の考えを伺います。

答 全児童生徒へのタブレット端末の購入などの経費です。タブレット端末及びタッチペンを小学校に3480台、中学校に1864台購入、委託

その他の質問事項

●石岡市学童保育事業条例の一部改正

議案第80号
石岡市民会館条例の廃止

今後の文化教養の増進は



動画

鈴木 康仁

問 石岡市民会館条例第1条にあった、市民の文化、教養及び福祉の増進に寄与するという目的は、市民にとって意義深く、そして、未来を担う子どもたちにとっては大変大切なことだと思います。新しい市民会館ができるまでの間、文化教養の増進という市民の心を潤す政策はどの部署が担っていくのか。また、市民会館事業基金については、市民会館閉館後に違う施設等で自主事業を実施することで、文化教養の増進をしていくようなことを考えていたと思えますが、今後どのようなことになっていくのか伺います。さらに、市民会館の安全対策のための補正予算39万6000円が計上されていますが、それだけで本当に安全が確保できるのか伺います。

答 閉館後の令和2年4月以降、新たな文化施設整備の検討について生活環境部が中心となって対応しているところです。条例廃止後は、生活環境部コミュニティ推進課の事務分掌に位置づけたいと考えます。

また、自主事業を行う際に充てていた1000万円の基金については、設置目的に沿った事業を当該施設を会場として実施するという条例本来の基本的な前提に立ち戻り、今後市民会館での事業実施の予定はないため、全額一般会計に繰り入れる予定です。

今後の施設の管理については、今回の補正予算の承認後、防護柵等を設置し、24時間の機械警備等で安全の確保に努めます。

議案第81号
石岡市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

感染者等への救急体制は



動画

石橋 保卓

問 職員が新型コロナウイルス感染者またはその疑いのある者に接して行う看護、搬送または移送に従事した場合に特殊勤務手当を支給するための条例改正とのことですが、救急要請があつた場合に、患者の状況をどのように把握して出場するのか伺います。

また、救急搬送業務は、例えば新型コロナウイルスの部分で言えば、保健所が指定する検査場所まで搬送して終了なのか、検査所を経由して医療機関まで搬送して終了するのか。どういったところまで救急隊の業務が行われるのか伺います。

答 119番による救急搬送の場合、まず救急隊が新型コロナウイルス感染症の判断基準に沿ってスクリーニングを行い、

その他の質問事項

●令和2年度石岡市一般会計補正予算(第7号)
●石岡市民会館条例の廃止

常任委員会の活動

●石岡市議会には、3つの常任委員会が置かれています。各委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、市の業務内容の調査や、議案と請願・陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容を報告します。

●総務委員会

議案の審査

9月14日開催の当委員会では、一般会計補正予算、条例の一部改正など付託された2議案の審査を行い、いずれも原案可決すべきものと決しました。

補正予算の審査に当たり、執行部から、企画事務費の不動産鑑定委託料について説明がありました。これは、法政大学石岡総合体育施設の不動産鑑定を行うもので、現在、大学側との交渉が継続中のため、仮に取得した場合の活用案として、総合スポーツ施設としての活用を目指したいとのことでした。

これを受けて委員から

は、不動産鑑定の手法についての提案や、今後の公共施設の再配置との整合性について意見が出されました。

恋瀬出張所の廃止

続いて、所管事務の調査では、恋瀬出張所の廃止について調査を行いました。

執行部からは、恋瀬地区の全区長を対象に説明会を行った結果、「時代背景を考えると廃止はやむを得ない」などの意見があり、特に廃止に対する反対意見はなかったこと、また、出張所廃止による住民サービスの低下を防ぐ対策として、瓦会郵便局へ窓口事務の委託を行うことについて説明がありました。

●教育福祉環境委員会

文化施設整備事業

9月11日開催の委員会では、各会計の補正予算、条例の廃止など付託された14議案の審査を行い、すべて原案可決すべきものと決しました。

また、所管事務の調査として、文化施設整備事業における機能複合化の検討状況について、執行部から説明がありました。この事業は、市民会館が閉館になり、これからの石岡市に求められる文化施設機能や規模、立地場所などについて調査し、基本構想としてまとめるもので、庁内で組織する複合施設検討プロジェクトチームにおいて、市民会館に代わる文

化施設を軸として、既存の公共施設等との複合化を検討していることや、公設公営だけでなくPFIによる事業手法も検討していること、また、石岡市立地適正化計画に基づき、候補地として石岡市街地の公有地の調査を行ったことが報告されました。

委員からは、「これまで石岡市になかった施設は検討の中に入っているか」との問いがあり、執行部からは、「新しい観点から機能を加えていくような検討もしていきたい」との答弁がありました。そのほか、国の有利な補助制度を活用してほしいなどの意見が出されました。

●経済建設消防委員会

議案の審査

9月15日に開催した当委員会では、付託された議案として、一般会計補正予算や備品購入契約の締結についてなど、計4件の審査を行いました。

このうち、備品購入契約の締結議案は、車両・ポンプが老朽化した小幡地区第13分団、東成井地区第22分団の消防ポンプ自動車を更新配備するため、車両購入契約の議決を求めるものです。

委員からは、「13分団、22分団それぞれに配備する車両はどちらも同一のものか」との問いがあり、執行部からは「両分団とも同じ車両だが、13分団は小型ポンプがないためそれを含めての購入、22分団は既存の小型ポンプがあるため、それを積載できる仕様のもの」との答弁がありました。また、「13分団、22分団のほかにも車両が古い分団はあるか」との問いには、「更新を要する車両が8台あり、毎年2台ごと更新を計画している」との答弁がありました。

質疑があった同議案を含め、付託された議案はすべて原案可決すべきものと決しました。

編集後記

市民の皆様には、日頃より議会に對しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。

去る10月2日、市教育委員会の職員が官製談合防止法違反の容疑で逮捕される事件が発生しました。全体の奉仕者として法令等を遵守し、職務を遂行する使命を持った職員が、このような不祥事を起こしたことは大変遺憾であり、市民の皆様にも多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことに強く猛省を促したいと思っております。

今後は執行部に對し、事件の原因究明や再発防止の徹底を訴え、1日も早い市の再生を求めています。

(高野 要)

議会広報委員会

委員長	村上 泰道
副委員長	石橋 保卓
委員	高野 要
委員	岡野 孝雄
委員	大和田寛樹
委員	新田 茜

